



床ずれ防止用具・ 体位変換器

床ずれは作らないことに十分な配慮をしましょう。

ご利用者の身体状況と床ずれの起きやすさ、また介助者がどのような介護をできるのかなどを
ふまえて、必要な床ずれ防止用具の機能を選択するようにしましょう。

床ずれ防止用具・体位変換器 選ぶ前に知っておきたいこと

① 身体を動かせるか、痛みを感じるか

床ずれの起きやすさは個人によって異なります。ベッドや車いす上でどれほど身体を動かせるか(寝返りというきちんとした動作でなくとも、腰を浮かせられるとか、少しだけ動かせるとか)や痛みを感じるかどうかを確認します。痛みを感じる事ができ、わずかでも身体を動かすことができると床ずれが起きる可能性は小さくなります。

② 骨の出っ張りがあるか

骨の出っ張り(骨突出)があるとその部分に圧力の集中が起きやすく、床ずれが起きやすくなります。その部分の圧力を分散させる方法を考えましょう。



③ 排泄方法は適切か

排泄方法が合っておらず、排泄物による皮膚へのダメージがあると、床ずれが起きやすくなります。この場合にはマットレスの対応だけでは解決できません。まずは適切な排泄方法を考えましょう。

④ すでに床ずれがある場合の原因は何か

すでに床ずれがある場合にはその原因を考え、圧力が問題な場合にはひとまず床ずれ部分の圧力を小さくすることが大切です。エアマットレスや体圧分散性の良いウレタン系のマットレスを利用する必要があります。ずれが原因の場合はずれを小さくする工夫が必要です。移動動作でこすったりぶつけたりすることが原因の場合は、その原因をなくす工夫が必要です。

⑤ 過去の経験を振り返る

現在では床ずれがない場合でも、過去の経験は貴重な情報です。いつ頃どこに起きたのか、程度はどれくらいだったのか、治るまでどれくらいかかったのか、原因は何だったのかなど、わかる範囲で確認しましょう。対策を立てる上で大きな参考になります。

床ずれ防止用具・体位変換器 選び方のポイント・目安

ご利用者の状況に合わせた選び方が大切です。

ポイント① マットレスの体圧分散性が原因の場合

エアマットレスやウレタン系など、体圧分散性の良いマットレスを選びます。

ポイント② 背上げ時におしりが底つきしそうな場合

背上げ時におしり周辺の空気圧を高くできるエアマットレスを選びます。

ポイント③ エアマットレスの動きで不快感がある場合

エアマットレス内の空気圧が変動することによって船酔いのような不快感があるときは、エアマットレスではなくウレタン系のマットレスを選びます。

ポイント④ 背上げ時のずれが原因の場合

介助の方法を基本的に見直す必要があります。背を上げる前に正しい位置に寝かせること、その場合にどのような介助動作で位置を変えるかも考えます。また背を上げるにつれて頻繁に「背抜き」介助が必要になります。背を下げたときも必ず横向きにしながらずれを減らします。

